



# 米袋+ジーンズ → エコバッグ

飯田市で飲食店5店舗を営する「松沢」は今年、米袋にジーンズ生地を持ち手を付けたエコバッグ「RISACK K(ライサック)」の販売を始めた。宮田村の主婦らの手作り品で、材料のジーンズは不用品を集めて活用している。同社の店を訪れた客が、同社と主婦たちをつないで商品化が実現した。



バッグは田中千穂さん(44)と宮田村が1年ほど前に作り始め、友人に配ったり作り方の講習会を開いたりしていた。田中さんからバッグを受け取った知人が3月、同社が

経営する天竜峡近くの店舗に行き、取締役の折山尚美さんの目に留まった。「うちで売りたい」と折山さんが田中さんに連絡。商品化に向けてデザインの改良を重ね、ジーンズ

エコバッグの活用方法を話し合う田中さん(左)と折山さん

## 飯田の飲食店経営会社が販売 宮田の主婦ら手作り 共同で商品化

ズの提供を募った。バッグは縦約35センチ、横約40センチで約15センチのまちがある。使用する30センチ用の米袋は市販の新品を使っている。ジーンズは、おしゃれのために縫い目がある部分をあえて使用。折山さんは「バッグは使い込まれるとかわいらしくなる。それが格好いい」と話す。

同社は新型コロナウイルスの影響で販路がなくなった地元の野菜を使った総菜を販売しており、バッグの製作過程で余る米袋の上部は総菜を入れる袋に活用している。田中さんは「小さなことからエコへの取り組みを進めていきたい」と話した。

1個1620円(税込み)で、同社のオンラインショップ(fukume.shop)で購入できる。経営する「HIRANOYA」「KURANO」「テリリュウ堂」の3店舗での販売も計画。ジーンズの回収は同3店舗と、宮田村の「梅が里ギャラリー手づくり屋」で行っている。

(2021年5月20日朝刊・地域面〈飯田伊那〉)

# 主婦ら手作りのエコバッグを商品化

## 解答例

年 組 名前

飯田市で飲食店を経営する「松沢」が、主婦のアイデアから生まれたエコバッグの販売を始めました。商品化までの経緯を、記事から読み取りましょう。

① 次の漢字の読みを書きましよう。

（ きじ ） （ と ） まった

生地 留

（ つの ） った （ かっこう ）

募 格好

② 販売を始めたエコバッグ「RISACK（ライサック）」は、何に、どんなものを付けていますか。リード（第一段落）から書きましよう。

何にー 米袋

どんなものをー ジーンズ生地の手持ち手

③ 宮田村の田中千穂さんは、1年ほど前に作り始めたバッグについて、どんなことをしていましたか。

【解答】 友人に配ったり作り方の講習会を開いたりしていた

④ バッグの商品化は、どんなことがきっかけでしたか。簡潔に書きましよう。

【解答】 〔例〕 田中さんからバッグを受け取った知人が、同社（松沢）が経営する天竜峡近くの店舗に行き、取締役の折山尚美さんの目に留まったこと

⑤ 同社取締役の折山尚美さんは、バッグのどんなところが格好いいと話していますか。

【解答】 使い込まれるとしわしわになるところ

⑥ 同社はバッグの他に、何を販売していますか。

【解答】 新型コロナウイルスの影響で販路がなくなった地元野菜を使った総菜